

④ 腹囲

* 上段：実数（人）、下段：構成割合（%）

		n %	問題あり	問題なし
全体		325	134	191
		100.0	41.2	58.8
性別	男性	175	100	75
		100.0	57.1	42.9
女性	150	34	116	
	100.0	22.7	77.3	
年齢	65～69歳	82	32	50
		100.0	39.0	61.0
	70～74歳	110	48	62
		100.0	43.6	56.4
	75～79歳	61	23	38
		100.0	37.7	62.3
	80～84歳	45	19	26
		100.0	42.2	57.8
	85歳以上	27	12	15
		100.0	44.4	55.6

※【判定基準】「問題あり」は男性：85 cm以上、女性：90 cm以上

■ 腹囲判定結果—全体—

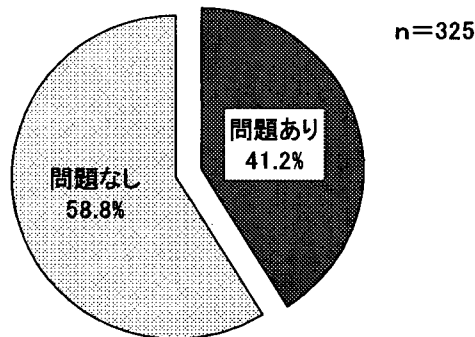


表 3_2_3 には、運動能力の評価結果を示した。運動能力測定項目は、握力、FR（ファンクショナル・リーチ）、開眼片足立ち、落下棒テスト、Timed Up & Go Testの5種であった。各運動能力の判定に当たっては、厚生労働省 市町村介護予防事業（平成13年～平成17年）の調査結果における基準値（平均値、標準偏差）を下に行った。なお、基準値は性別・年齢別となっている。基準値以下の者を「問題あり」として、その人数・割合を表 3_2_2 に示した。

これによれば、握力に問題のあった者は、全体で0.3%（325人中1人）とごく少数にすぎなかった。また、ファンクショナル・リーチ、落下棒、Timed Up & Go Testも数%止まりであった。これに対し、開眼片足立ちの場合は、全体の14.5%（325人中47人）が問題ありとなった（男性13.7%、女性15.3%と、性別による大きな差はなかった）。

なお、各項目での「問題あり」の対象者は、他の項目でも重複して「問題あり」となっている場合もあるため、全体として、なんらかの項目で「問題あり」と判定された人数は58人であった。

表 3_2_2 第1回目測定 各項目における「問題あり」の高齢者の人数と割合

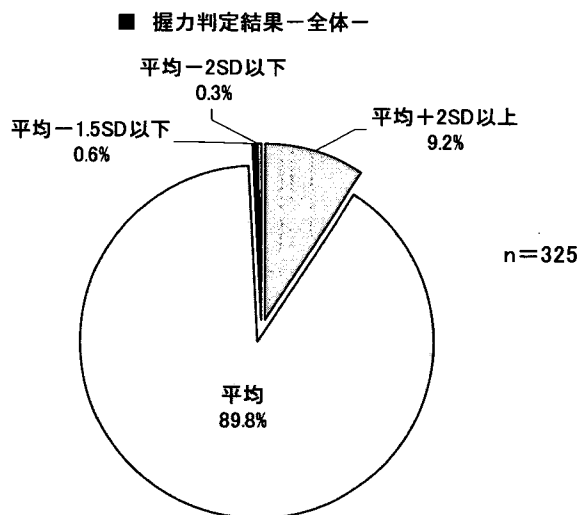
		n %	握力	ファンクシ ョナル・リー チ	開眼片足 立ち	落下棒	Timed Up & Go
全 体		325	1	6	47	8	1
		100.0	0.3	1.8	14.5	2.5	0.3
性 別	男 性	175	-	-	24	5	1
		100.0	-	-	13.7	2.9	0.6
	女 性	150	1	6	23	3	-
		100.0	0.7	4.0	15.3	2.0	-

表 3_2_3 第 1 回目測定 運動能力判定結果

⑤ 握力

* 上段；実数（人）、下段；構成割合（%）

		n	平均+2SD 以上	平均	平均-1.5SD 以下	平均-2SD 以下
		%				
全 体		325	30	292	2	1
		100.0	9.2	89.8	0.6	0.3
性 別	男性	175	23	152	-	-
		100.0	13.1	86.9	-	-
女性	150	7	140	2	1	
	100.0	4.7	93.3	1.3	0.7	
年 齢	65~69 歳	82	5	77	-	-
		100.0	6.1	93.9	-	-
	70~74 歳	110	16	92	2	-
		100.0	14.5	83.6	1.8	-
	75~79 歳	61	4	56	-	1
		100.0	6.6	91.8	-	1.6
80~84 歳	45	2	43	-	-	
	100.0	4.4	95.6	-	-	
85 歳以上	27	3	24	-	-	
	100.0	11.1	88.9	-	-	

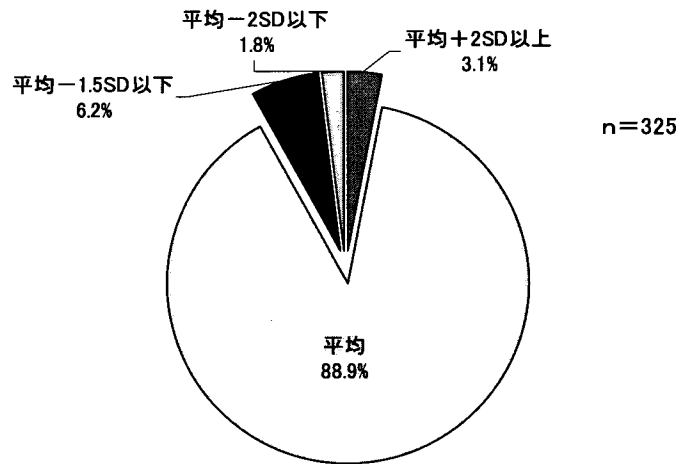


⑥ FR (ファンクショナル・リーチ)

*上段：実数（人）、下段：構成割合（%）

		n %	平均+2SD 以上	平均	平均-1.5SD 以下	平均-2SD 以下
全 体		325	10	289	20	6
		100.0	3.1	88.9	6.2	1.8
性 別	男性	175	5	156	14	-
		100.0	2.9	89.1	8.0	-
	女性	150	5	133	6	6
		100.0	3.3	88.7	4.0	4.0
年 齢	65~69 歳	82	4	73	4	1
		100.0	4.9	89.0	4.9	1.2
	70~74 歳	110	1	103	6	-
		100.0	0.9	93.6	5.5	-
	75~79 歳	61	-	55	4	2
		100.0	-	90.2	6.6	3.3
	80~84 歳	45	3	37	4	1
		100.0	6.7	82.2	8.9	2.2
	85 歳以上	27	2	21	2	2
		100.0	7.4	77.8	7.4	7.4

■ FR(ファンクショナルリーチ)判定結果-全体-

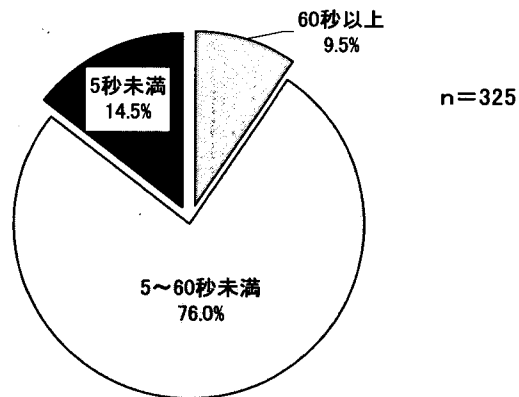


⑦ 開眼片足立ち

* 上段：実数（人）、下段：構成割合（%）

		n	60秒以上	5~60秒未満	5秒未満
		%			
全体		325	31	247	47
		100.0	9.5	76.0	14.5
性別	男性	175	2	149	24
		100.0	1.1	85.1	13.7
女性	150	29	98	23	
	100.0	19.3	65.3	15.3	
年齢	65~69歳	82	12	68	2
		100.0	14.6	82.9	2.4
	70~74歳	110	13	88	9
		100.0	11.8	80.0	8.2
	75~79歳	61	5	47	9
	100.0	8.2	77.0	14.8	
80~84歳	45	1	29	15	
	100.0	2.2	64.4	33.3	
85歳以上	27	-	15	12	
	100.0	-	55.6	44.4	

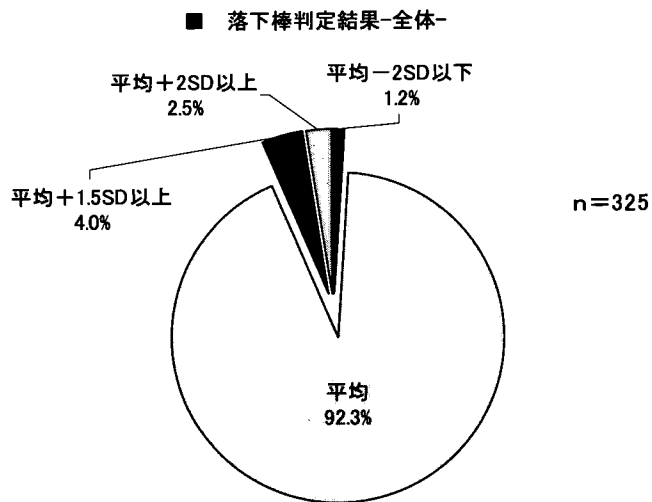
■ 開眼片足立ち判定結果—全体—



⑧ 落下棒テスト

* 上段：実数（人）、下段：構成割合（%）

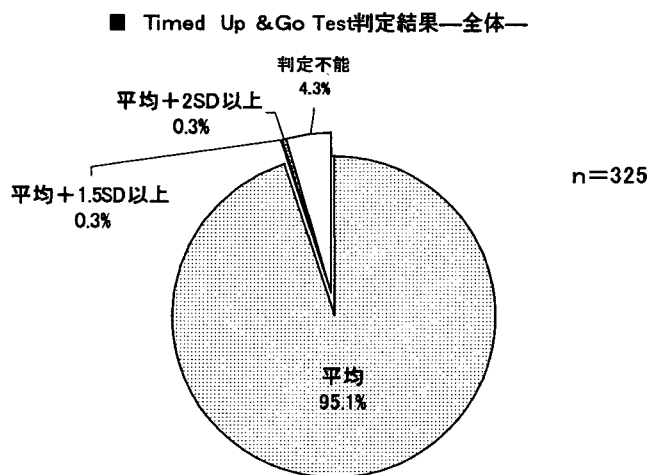
		n %	平均-2SD 以下	平均	平均+1.5SD 以上	平均+2SD 以上
全 体		325	4	300	13	8
		100.0	1.2	92.3	4.0	2.5
性 別	男性	175	4	161	5	5
		100.0	2.3	92.0	2.9	2.9
女性	150	-	139	8	3	
	100.0	-	92.7	5.3	2.0	
年 齢	65～69歳	82	1	75	4	2
		100.0	1.2	91.5	4.9	2.4
	70～74歳	110	1	107	2	-
		100.0	0.9	97.3	1.8	-
	75～79歳	61	1	54	4	2
		100.0	1.6	88.5	6.6	3.3
	80～84歳	45	1	38	3	3
		100.0	2.2	84.4	6.7	6.7
	85歳以上	27	-	26	-	1
		100.0	-	96.3	-	3.7



⑨ Timed Up & Go Test

* 上段：実数（人）、下段：構成割合（%）

		n %	平均	平均+1.5SD 以上	平均+2SD 以上	判定不能
全 体		325	309	1	1	14
		100.0	95.1	0.3	0.3	4.3
性 別	男性	175	165	-	1	9
		100.0	94.3	-	0.6	5.1
	女性	150	144	1	-	5
		100.0	96.0	0.7	-	3.3
年 齢	65~69 歳	82	82	-	-	-
		100.0	100.0	-	-	-
	70~74 歳	110	106	-	-	4
		100.0	96.4	-	-	3.6
	75~79 歳	61	56	-	-	5
		100.0	91.8	-	-	8.2
	80~84 歳	45	41	-	-	4
		100.0	91.1	-	-	8.9
	85 歳以上	27	24	1	1	1
		100.0	88.9	3.7	3.7	3.7



(2) 運動能力測定結果 (第2回目:平成19年度)

第2回目の運動能力測定結果は表3_2_4に示すとおりである。このうち、今回のBMI判定では、「理想体重」が全体の半数を上回った(54.5%)。「過体重」から「肥満3度」の割合も合わせて33.8%と、前回と比べて約7ポイント減少(前回は41.5%)していた。他方、「やせすぎ」「やせ気味」は合わせて約1割の10.7%であり、前回よりやや増加していた(前回9.8%)。また、性別では、前回と同様に女性よりも男性に肥満傾向を示す者が多かった。

胴周囲判定結果では、「問題なし」61.8%、「問題あり」(上半身肥満)が37.1%と、体重の減少に伴い、「問題なし」の割合が増加していた。

これは、昨今の世間の生活習慣病予防への関心の高まりを反映しているものとも考えられる。

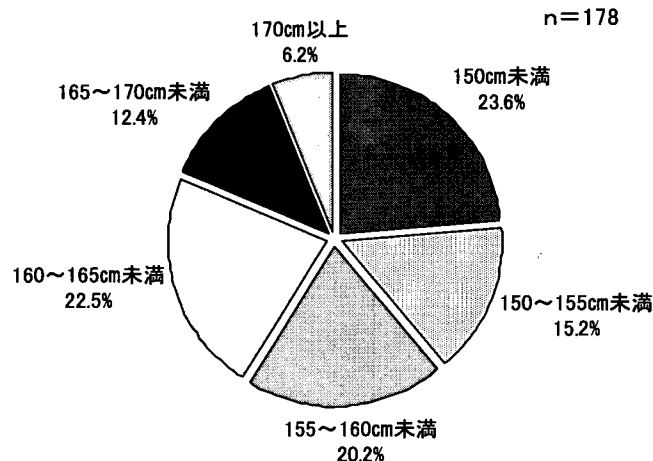
表3_2_4 第2回目測定 身長・体重・肥満の状況

① 身長

* 上段:実数(人)、下段:構成割合(%)

		n %	150cm未満	150~155cm 未満	155~160cm 未満	160~165cm 未満	165~170cm 未満	170cm以上
全体		178 100.0	42 23.6	27 15.2	36 20.2	40 22.5	22 12.4	11 6.2
性別	男性	98 100.0	2 2.0	8 8.2	19 19.4	37 37.8	21 21.4	11 11.2
	女性	80 100.0	40 50.0	19 23.8	17 21.3	3 3.8	1 1.3	-
年齢	65~69歳	38 100.0	8 21.1	5 13.2	7 18.4	11 28.9	4 10.5	3 7.9
	70~74歳	68 100.0	9 13.2	10 14.7	19 27.9	18 26.5	7 10.3	5 7.4
	75~79歳	39 100.0	11 28.2	4 10.3	9 23.1	8 20.5	5 12.8	2 5.1
	80~84歳	20 100.0	10 50.0	5 25.0	-	2 10.0	3 15.0	-
	85歳以上	13 100.0	4 30.8	3 23.1	1 7.7	1 7.7	3 23.1	1 7.7

■ 身長測定結果 -全体-

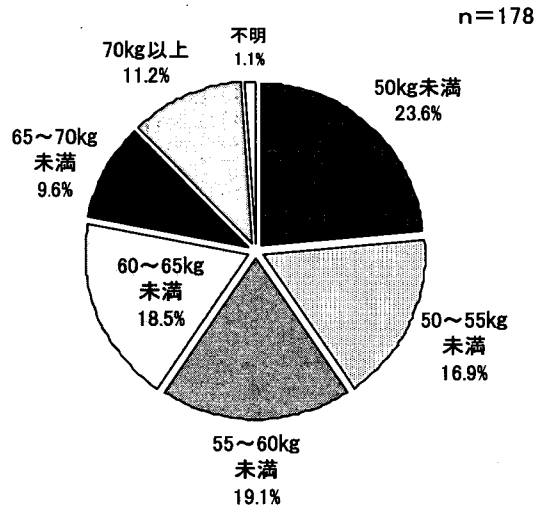


②体重

* 上段：実数（人）、下段：構成割合（%）

		n	50 kg未満	50~55 kg 未満	55~60 kg 未満	60~65 kg 未満	65~70 kg 未満	70 kg以上	不明
全 体		178	42	30	34	33	17	20	2
		100.0	23.6	16.9	19.1	18.5	9.6	11.2	1.1
性 別	男性	98	7	10	20	26	15	19	1
		100.0	7.1	10.2	20.4	26.5	15.3	19.4	1.0
	女性	80	35	20	14	7	2	1	1
		100.0	43.8	25.0	17.5	8.8	2.5	1.3	1.3
年 齢	65~69 歳	38	5	9	9	6	4	5	-
		100.0	13.2	23.7	23.7	15.8	10.5	13.2	-
	70~74 歳	68	9	13	13	15	8	9	1
		100.0	13.2	19.1	19.1	22.1	11.8	13.2	1.5
	75~79 歳	39	12	6	5	7	4	4	1
		100.0	30.8	15.4	12.8	17.9	10.3	10.3	2.6
	80~84 歳	20	11	1	6	2	-	-	-
		100.0	55.0	5.0	30.0	10.0	-	-	-
	85 歳以上	13	5	1	1	3	1	2	-
		100.0	38.5	7.7	7.7	23.1	7.7	15.4	-

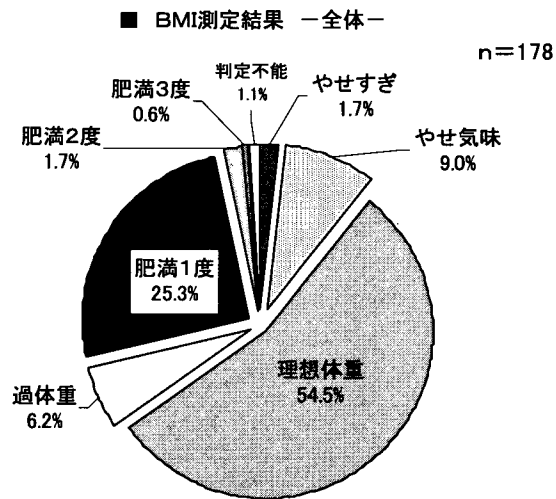
■ 体重測定結果 -全体-



③ BMI

* 上段；実数（人）、下段；構成割合（％）

		n %	やせすぎ	やせ気味	理想体重	過体重	肥満1度	肥満2度	肥満3度	判定 不能
			17.6 以下	17.7～ 19.8 以下	19.9～ 24.1 以下	24.2～25 未満	25～30 未満	30～35 未満	35～40 未満	
全 体		178	3	16	97	11	45	3	1	2
		100.0	1.7	9.0	54.5	6.2	25.3	1.7	0.6	1.1
性 別	男性	98	2	9	49	6	29	2	-	1
		100.0	2.0	9.2	50.0	6.1	29.6	2.0	-	1.0
女性	80	1	7	48	5	16	1	1	1	
	100.0	1.3	8.8	60.0	6.3	20.0	1.3	1.3	1.3	
年 齢	65～69 歳	38	-	4	20	2	11	1	-	-
		100.0	-	10.5	52.6	5.3	28.9	2.6	-	-
	70～74 歳	68	2	3	35	6	20	1	-	1
		100.0	2.9	4.4	51.5	8.8	29.4	1.5	-	1.5
	75～79 歳	39	-	5	22	3	7	-	1	1
		100.0	-	12.8	56.4	7.7	17.9	-	2.6	2.6
	80～84 歳	20	-	3	14	-	3	-	-	-
		100.0	-	15.0	70.0	-	15.0	-	-	-
	85 歳以上	13	1	1	6	-	4	1	-	-
		100.0	7.7	7.7	46.2	-	30.8	7.7	-	-



④ 腹囲

* 上段：実数（人）、下段：構成割合（％）

		n %	問題あり	問題なし	不明
全 体		178	66	110	2
		100.0	37.1	61.8	1.1
性 別	男性	98	49	48	1
		100.0	50.0	49.0	1.0
	女性	80	17	62	1
		100.0	21.3	77.5	1.3
年 齢	65～69 歳	38	14	24	-
		100.0	36.8	63.2	-
	70～74 歳	68	34	33	1
		100.0	50.0	48.5	1.5
	75～79 歳	39	12	26	1
		100.0	30.8	66.7	2.6
	80～84 歳	20	2	18	-
		100.0	10.0	90.0	-
	85 歳以上	13	4	9	-
		100.0	30.8	69.2	-

※【判定基準】「問題あり」は男性：85 cm以上、女性：90 cm以上

■ 腹囲測定結果 —全体—

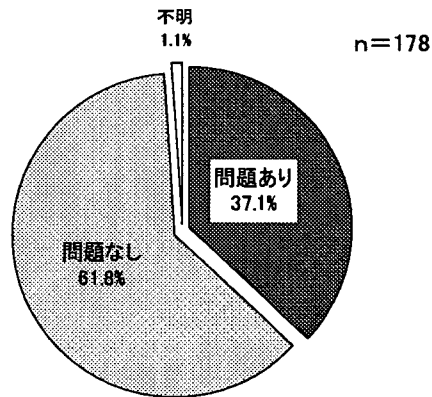


表 3_2_6 には、運動能力の評価結果を示した。運動能力測定項目は、前回と同様、握力、FR（ファンクショナル・リーチ）、開眼片足立ち、落下棒テスト、Timed Up & Go Testの5種であった。各運動能力の判定に当たっては、前回と同様の基準値を用いた。

その結果、「問題あり」と判定された者の人数・割合を表3_2_5に示した。なお、各項目での「問題あり」の対象者は、他の項目でも重複して「問題あり」となっている場合もあるため、全体として、なんらかの項目で「問題あり」と判定された人数は17人であった。

今回の結果では、握力とファンクショナル・リーチにおいては、「問題あり」に該当する者がいなかった。落下棒テスト、Timed Up & Go Testも数%止まりであった。開眼片足立ちの場合は、全体の8.4%（178人中15人）が問題ありとなっているが、前回と比べると、60秒以上の割合が9.5%から34.3%と大きく上昇していた。なお、その他の測定項目は前回とほぼ同様の傾向を示した。

表 3_2_5 第2回目測定 各項目における「問題あり」の高齢者の人数と割合

		n、%	握力	ファンクショナル・リーチ	開眼片足立ち	落下棒	Timed Up & Go
全 体		178	-	-	15	1	2
		100.0	-	-	8.4	0.6	1.1
性別	男性	98	-	-	8	1	1
		100.0	-	-	8.2	1.0	1.0
	女性	80	-	-	7	-	1
		100.0	-	-	8.8	-	1.3

表 3_2_6 第 2 回目測定 運動能力判定結果

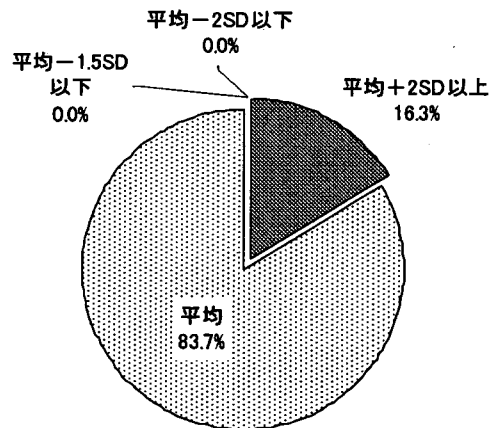
⑤ 握力

* 上段：実数（人）、下段：構成割合（%）

		n	平均+2SD 以上	平均	平均-1.5SD 以下	平均-2SD 以下
全 体		178	29	149	-	-
		100.0	16.3	83.7	-	-
性 別	男性	98	26	72	-	-
		100.0	26.5	73.5	-	-
	女性	80	3	77	-	-
		100.0	3.8	96.3	-	-
年 齢	65～69 歳	38	4	34	-	-
		100.0	10.5	89.5	-	-
	70～74 歳	68	16	52	-	-
		100.0	23.5	76.5	-	-
	75～79 歳	39	6	33	-	-
		100.0	15.4	84.6	-	-
	80～84 歳	20	1	19	-	-
		100.0	5.0	95.0	-	-
	85 歳以上	13	2	11	-	-
		100.0	15.4	84.6	-	-

■ 握力判定結果 -全体-

n=178

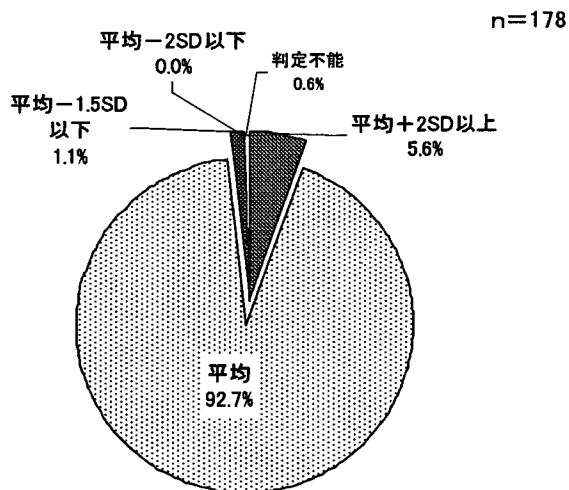


⑥ FR (ファンクショナル・リーチ)

* 上段：実数（人）、下段：構成割合（%）

		n	平均+2SD 以上	平均	平均-1.5SD 以下	平均-2SD 以下	判定 不能
全 体		178	10	165	2	-	1
		100.0	5.6	92.7	1.1	-	0.6
性 別	男性	98	7	91	-	-	-
		100.0	7.1	92.9	-	-	-
	女性	80	3	74	2	-	1
		100.0	3.8	92.5	2.5	-	1.2
年 齢	65～69 歳	38	2	36	-	-	-
		100.0	5.3	94.7	-	-	-
	70～74 歳	68	3	64	1	-	-
		100.0	4.4	94.1	1.5	-	-
	75～79 歳	39	1	38	-	-	-
		100.0	2.6	97.4	-	-	-
	80～84 歳	20	2	18	-	-	-
		100.0	10.0	90.0	-	-	-
	85 歳以上	13	2	9	1	-	1
		100.0	15.4	69.2	7.7	-	7.7

■ FR(ファンクショナル・リーチ)判定結果 -全体-

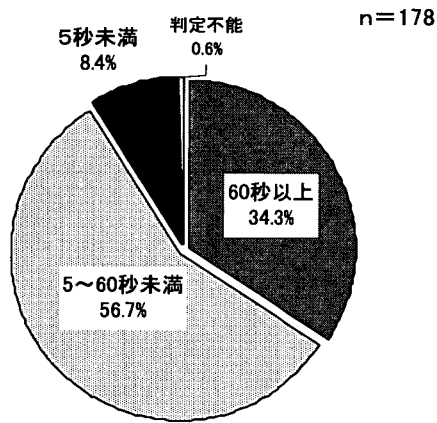


⑦ 開眼片足立ち

* 上段：実数（人）、下段：構成割合（%）

		n %	60秒以上	5～60秒未満	5秒未満	判定 不能
全 体		178	61	101	15	1
		100.0	34.3	56.7	8.4	0.6
性 別	男性	98	38	52	8	-
		100.0	38.8	53.1	8.2	-
女性	80	23	49	7	1	
	100.0	28.8	61.3	8.8	1.3	
年 齢	65～69 歳	38	20	18	-	-
		100.0	52.6	47.4	-	-
	70～74 歳	68	28	36	3	1
		100.0	41.2	52.9	4.4	1.5
	75～79 歳	39	8	28	3	-
		100.0	20.5	71.8	7.7	-
	80～84 歳	20	5	12	3	-
		100.0	25.0	60.0	15.0	-
	85 歳以上	13	-	7	6	-
		100.0	-	53.8	46.2	-

■ 開眼片足立ち判定結果 ー全体ー



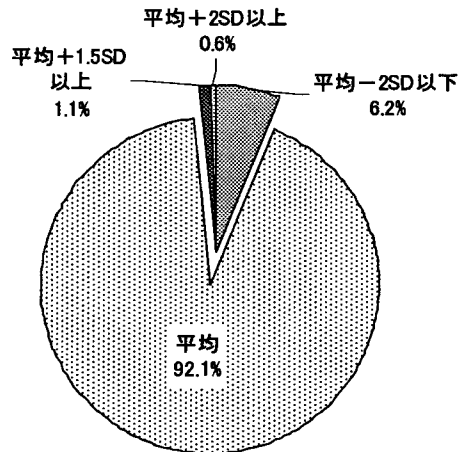
⑧ 落下棒テスト

* 上段：実数（人）、下段：構成割合（%）

		n	平均-2SD	平均	平均+1.5SD	平均+2SD
		%	以下		以上	以上
全体		178	11	164	2	1
		100.0	6.2	92.1	1.1	0.6
性別	男性	98	10	86	1	1
		100.0	10.2	87.8	1.0	1.0
	女性	80	1	78	1	-
		100.0	1.3	97.5	1.3	-
年齢	65~69歳	38	2	35	1	-
		100.0	5.3	92.1	2.6	-
	70~74歳	68	2	66	-	-
		100.0	2.9	97.1	-	-
	75~79歳	39	4	34	-	1
		100.0	10.3	87.2	-	2.6
	80~84歳	20	-	19	1	-
		100.0	-	95.0	5.0	-
	85歳以上	13	3	10	-	-
		100.0	23.1	76.9	-	-

■ 落下棒判定結果 - 全体 -

n=178



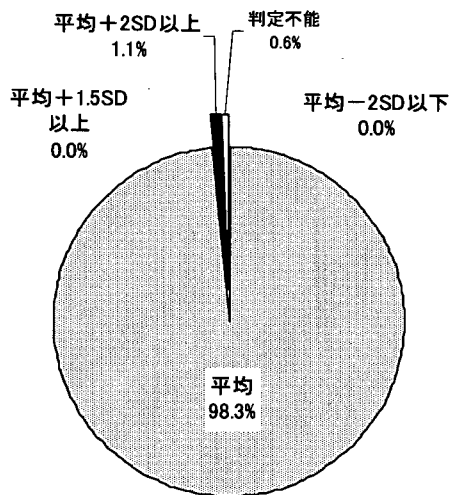
⑨ Timed Up & Go Test

* 上段：実数（人）、下段：構成割合（%）

		n %	平均-2SD 以下	平均	平均+1.5SD 以上	平均+2SD 以上	判定 不能
全 体		178	-	175	-	2	1
		100.0	-	98.3	-	1.1	0.6
性 別	男性	98	-	97	-	1	-
		100.0	-	99.0	-	1.0	-
	女性	80	-	78	-	1	1
		100.0	-	97.5	-	1.3	1.3
年 齡	65~69 歳	38	-	38	-	-	-
		100.0	-	100.0	-	-	-
	70~74 歳	68	-	68	-	-	-
		100.0	-	100.0	-	-	-
	75~79 歳	39	-	39	-	-	-
		100.0	-	100.0	-	-	-
	80~84 歳	20	-	19	-	1	-
		100.0	-	95.0	-	5.0	-
	85 歳以上	13	-	11	-	1	1
		100.0	-	84.6	-	7.7	7.7

■ Timed Up & Go Test判定結果 -全体-

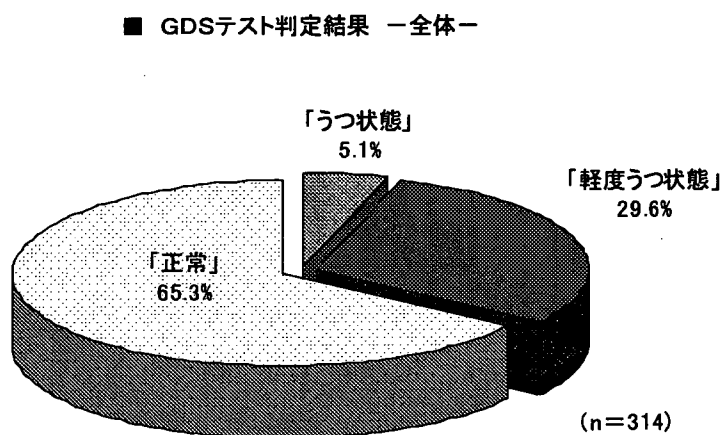
n=178



2.2 生活健康調査について

(1) 高齢者の「抑うつ」の状況（第1回目：平成18年度）

比較的健康的な高齢者対象の健康度測定に参加した者に対する「生活・健康についてのアンケート調査」（質問紙法）に盛り込んだGDS（Geriatric Depression Scale 高齢者うつスケール）の結果をみると、全体としては「正常」が65.3%（205人）と多数を占めるが、「軽度うつ状態」が3割近い29.6%（93人）であった。また「うつ状態」が5.1%（16人）であった。

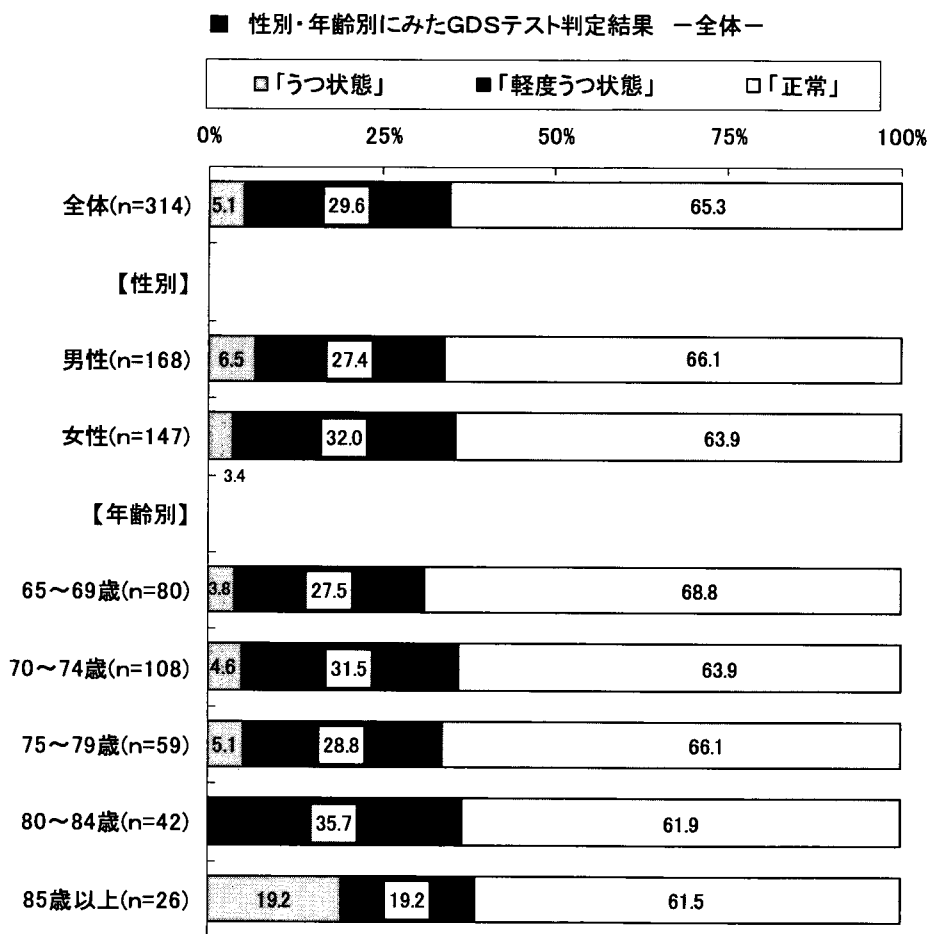


*判定不能者（一定数以上の無回答項目がある者）は除外している

図3_2_1 高齢者の「抑うつ」状況

高齢者のうつ状況を性別・年齢別にみると、図 3_2_2 のように、性別では「軽度うつ状態」は女性にやや多いが、「うつ状態」は逆に男性でより多かった。「軽度うつ状態」と「うつ状態」を合わせた割合は男性が 33.9%、女性が 35.4%となっており、うつ傾向にある者は、有意な差ではないものの、やや女性が多かった。

年齢別にみたところでは、より高齢層であるほどうつ傾向を示す者が多いというわけではなく、「軽度うつ状態」以上の者は「70～74歳」及び「80～84歳」で35%強となった。但し、「85歳以上」においては「うつ状態」が19.2%と、他年齢層と比較して高くなっていた。

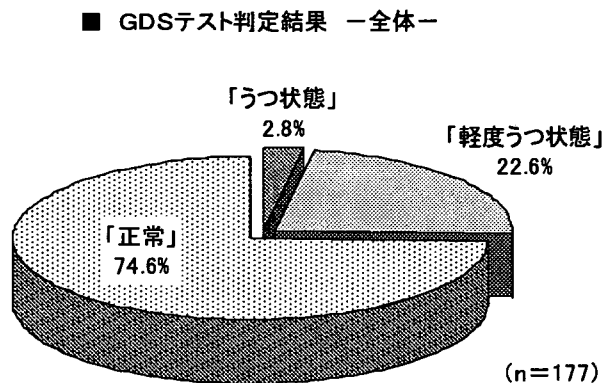


* 判定不能者(一定数以上の無回答項目がある者)は除外している

図 3_2_2 性別・年齢別にみた高齢者の「抑うつ」状況

(2) 高齢者の「抑うつ」の状況（第2回目：平成19年度）

第2回目の結果では、全体で「正常」が74.6%（132人）、「軽度うつ状態」が22.6%（40人）、「うつ状態」が2.8%（5人）であった。前回より、「軽度うつ状態」と「うつ状態」の割合が減少する一方で、「正常」は約9ポイント増加した。



*判定不能者（一定数以上の無回答項目がある者）は除外している

図3_2_3 高齢者の「抑うつ」状況（GDS判定）—全体—

対象者のうつ状況を性別・年齢別にみると、図3_2_4のように、性別では「軽度うつ状態」と「うつ状態」を合わせた割合は男性が22.6%、女性が28.8%と女性でより多くなっていた。前回調査結果と比べると、男性、女性ともに減少した（前回調査では男性が33.9%、女性が35.4%）。

年齢別にみると、より高齢層であるほどうつ傾向を示す者が多いというわけではなく、「軽度うつ状態」以上の者は「70～74歳」で29.0%、次いで「75～79歳」で28.2%、「85歳以上」で23.1%であった。なお、年齢別でも、「軽度うつ状態」以上の者の割合は減少していた。